

一般社団法人 医療開発基盤研究所 <PharmaTrain Centre of Excellence (CoE)認定> 主催

製薬医学専門家育成のための国際認定教育コース

- モジュール6（情報、販売促進、教育、保健医療の経済学）開講 -

【開催案内】

- ・ 期 間：2026年1月5日～2月24日(全16回)
- ・ 講義時間：各回午後6時半～8時（90分）
- ・ 場 所：オンライン（Zoom会議）
- ・ 定 員：なし
- ・ 参 加 費：税込22,000円（内訳：参加費11,000円、受講手数料11,000円）
* 全6モジュール受講者には割引あり（お問い合わせ：info@ji4pe.tokyo）

【教育コースの概要】

製薬医学(Pharmaceutical Medicine)とは、患者のベネフィットと社会の健康のために医薬品の創薬から市販後にいたるまでのプロセスを考える医科学の専門領域です。近年の医療ニーズの変化や多様化を反映して新薬開発にも様々な業種からの参入が相次いで、医療機器とのコンビネーションや再生医療、アプリやVirtual Reality等のICTを利用した治療戦略などが活況を呈しています。また、患者中心の医薬品開発への期待から、開発から市販後までの各段階で患者と市民の参画を推進する動きもあり、これらの新プレーヤーに対する教育研修の機会提供は製薬医学の普及啓発に最も重要です。

製薬医学のプロフェッショナルを育成するために教育研修は欠かせません。EUのInnovative Medicines Initiative (IMI)事業として誕生したPharmaTrainプロジェクトでは国際製薬医学会（IFAPP）と共に世界各国の教育コースの標準化を推進し、基準に適合した施設やコースを認定しています。

当法人では2020年8月より、コンピテンシー評価に基づくPharmaTrainの国際認定人材育成(SMDプログラム)を開始し、その前提となる製薬医学の基礎知識をオンラインで提供しています。2022年12月には当法人がPharmaTrainによりCentre of Excellence (CoE)として認定され、本コースに認定証が授与されました。国際標準の教育をオンラインで学び、録画の利活用で予習復習もできる利便性の高い学習コースです。

【プログラム】

全6モジュールのうち、1月よりモジュール6(情報、販売促進、教育、保健医療の経済学)を開講します(参考: 来年3月までにモジュール6までを順次開講し、全モジュールで基準達成者には修了証書を発行)。

* 講師プロフィール、全6モジュールの内容はこちら：<https://ji4pe.tokyo/course-c.html>

開催日程は変更となる可能性があります。

	SECTION 12 情報、販売促進、教育	日程	講師
12.5	患者、介護者および患者団体との交流; 倫理およびコンプライアンス、コミュニケーションおよび開示; 交流 のガバナンス	2026/1/5	GSK株式会社 奥田伊奈葉
12.2	医薬品ライフサイクル全体を通じたノンプロモーションおよび科学的な交流、疾患啓発、医薬品情報と教育	2026/1/9	アレクシオンファーマ合同会社 富安美千子
12.6	販促以外の製品サポート、医薬情報、医療関係者への直接通信(DHPC)、その他の活動; ライセンス前の活動		
12.1	GPPを含む関連する行動規範、方針、手続きおよび市販前後の活動に関する規制	2026/1/13	ベーカー&マッケンジー法律事務所 立石竜資
12.8	宣伝活動: レセプト、処方情報、メディアやデジタル広報、聴衆、コンプライアンス、倫理、管理、承認		

	SECTION 12. 情報、販売促進、教育	日程	講師
12.3	臨床試験および臨床研究の「パブリケーション戦略: ジャーナル選択と書き方実践のガイドライン	2026/1/15	MEDiSTRAVA合同会社 吉田久倫
12.9	ステークホルダーの教育: 継続的専門教育の原則、患者および一般向け教育のデザイン		
12.4	臨床ガイドラインの作成支援とその後の配布	2026/1/19	公益財団法人 日本医療機能評価機構 森實敏夫
13.8	健康関連QOL、患者報告アウトカム測定、患者報告経験測定; 離散選択実験 (DCE) 方法論を使用した嗜好性調査	2026/1/21	株式会社インテージヘルスケア 小森谷祥明
12.7	マーケティングの原則と実践: 市場構造と競合、市場分析および市場調査、戦略、コミュニケーションおよび戦術	2026/1/23	福岡大学商学部シチズンサイエンス研究センター 瀧川雅行
13.1	企業の社会的責任および経営経済学の導入; 医療への公平なアクセス、経済的持続可能性、財務諸表、売上予測		
13.3	ヘルスケアシステムの類型、公的および民間健康保険モデル; 資金の流れ		
総括	受講者発表 & Discussion	2026/1/27	武田薬品工業株式会社 上條のぞみ

	SECTION 13. 保健医療の経済学、医療経済学、薬剤経済学	日程	講師
13.5	エビデンスに基づく医療: 臨床的および薬剤経済学的エビデンス、臨床医関連、患者関連	2026/1/30	京都大学 中山健夫
13.4	健康経済学(マクロおよびミクロ)およびアウトカムリサーチの原則と方法; 薬剤経済学の概念および患者の役割	2026/2/2	ギリアド・サイエンシズ株式会社 吉田真奈美
13.10	患者の医薬品アクセス: コンパッションエース、患者アクセススキーム、病院、臨床医、慈善団体、患者組織、非政府組織による個別の財政援助要求	2026/2/10	IMSグループ 須藤夏樹
13.6	国際、国家および地域レベルでのHTAおよび市場アクセス。先進的医薬品・医療機器に対する考慮、財政影響分析、価格戦略	2026/2/12	昭和大学 百賢二
13.2	国際公衆衛生政策、医療システムのパフォーマンス、必須医薬品、ユニバーサルヘルスカバレッジ	2026/2/16	国立保健医療科学院 児玉知子
13.7	健康経済学的エビデンスの定性的および定量的評価、系統的レビューおよびメタアナリシス、市販前および市販後	2026/2/18	国際保健医療大学 池田俊也
13.9	コマーシャル戦略およびライフサイクルマネジメント: 競合、ライセンス、知財、コマーケティングおよびポジショニング、ジェネリック、バイオシミュレーション、並行輸入およびスイッチング戦略	2026/2/20	GSK株式会社 浜崎泰成
総括	受講者発表 & Discussion	2026/2/24	GSK株式会社 浜崎泰成

【参加申込】

- 下記URLの参加申請書ページからお申し込みください（開講期間中、随時受付）：
<https://ji4pe.tokyo/subscription-c/index.html>
- 参加費の入金確認後、参加用のURL（Zoom）をご登録のメールアドレスに送信します。講義資料は事前に共有フォルダからダウンロードできます。
- 受講証明書の発行は4時間半以上の受講及び受講後ミニテスト・アンケートへの回答が要件となります。

【お問い合わせ先】一般社団法人医療開発基盤研究所（JI4PE）事務局

Email: info@ji4pe.tokyo

URL: <https://ji4pe.tokyo/index.html>